

「ジュニアジオガイド講座①」事業報告書

企画指導専門職 安部 信吾

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークでの火山群及びその地形や地質の調査研究を通して、小学生の科学的思考の育成と阿蘇ジオパークの活用・普及に努める。また、小学生が自然に親しみ、見通しをもった観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を行うことにより、自然を愛し、自ら学び、課題を解決する意欲をもった青少年の育成を図る。
- (2) 期 日 平成28年12月3日(土)～4日(日)【1泊2日】
- (3) 活動場所 阿蘇青少年交流の家、草原学習館、阿蘇ジオサイト
- (4) 参加者 小学3～6年生 17名(男子9名、女子8名) (募集人数35名)
- (5) 担当職員 安部 信吾(企画指導専門職) 宮本 賀通(事業推進係員)
寺島 しほ(事務補佐員) 山本 正明(事業支援室長)
- (6) 内 容 【1日目】開会式・ジオ学習・大観峰探検・立体地図作り
【2日目】リモナイト実験・熊本地震断層見学・二重峠ハイキング・発表会

2 成果と課題

- (1) 成 果
- プログラムの計画段階から、阿蘇火山博物館長からアドバイスを頂き、安全で充実した活動ができた。
 - 第1回目だったので、池辺館長に「ジオとは何か」や阿蘇の地形の特徴について講話をしていただいたことで、参加者はその後の探検において理解しやすくなったようだった。
 - ジオガイドの方に、各班に帯同していただいたことにより、それぞれのジオサイトで詳しい解説をしてもらいながら探検をすることができ、内容の理解に深まりが見られた。
 - 参加児童の感想に「二重峠がきつかったけれど、石畳は手作りで、途中水切りや石を割ろうとした後なども見られて楽しかったです。」「今回は地震が起きたり、大きな噴火を起こしたりしてからだったので、噴石も採れたし断層や地割れなども見られて楽しかった。」「阿蘇にもこんなに素晴らしい場所があるということがよく分かってとっても楽しかったです。」など見られた。観察や実験を伴った活動を中心としたことで、参加者の興味関心を引きつけることができた。
- (2) 課 題
- 雨天など天候不良により野外の活動ができない場合のプログラムをしっかりと準備しておく必要があった。
 - 立体地図作りのキットは難易度が高く、時間内に完成できなかった。二人組で作成ではなく、班で1つ作成するようにすればよかった。(シール式の立体模型が作りやすい。)
 - 阿蘇ジオサイトに関する興味や関心を高めることはできたが、ジュニアジオガイドをして身に付けた知識や情報を他者に伝えることができる態度を身に付けさせるような工夫が今後必要である。

3 事業の様子



交流会（アイスブレイク）



ジオ学習（カルデラ形成実験）



大観峰探検



阿蘇立体地図作り



リモナイト実験



熊本地震断層見学



二重峠ハイキング



まとめ・発表会